

平成31年度 学校評価表

神石高原町立豊松小学校

経営理念	“責任と協働” 「組織して前進する」をアイデンティティとし、組織的・計画的な経営参画を確立し、RPDCAサイクルに乗せる。	達成度＝達成値×100 評価 A：目標以上 C：60%以上～80%未満 B：達成度が目標の80%以上～100%未満 D：60%未満
------	--	---

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための手立て	評価項目	7月 達成率	12月 達成率	3月 達成率	最終	部	担当
確かな学力	主体性・思考力・人とかかわる力を育成する。	算数科において、少人数・複式学級の特徴を生かし、主体的に人とかかわりながら授業に取り組みさせる。	引き続き自分達で学習を進められるようにする。また、練り合いの場面では、児童の思考に応じて視点を決め、児童主体で話し合わせるようにする。	① ・自分達で学習を進め、人とかかわり合いながら課題を解決したり学習を深めたりすることができる児童を80%以上にする。 （アンケートによる自己評価及び教師評価） ・算数の授業の中で、人とかかわりを通して学びを深めることができる児童を80%にする。 （学習後の振り返り）	主体性 106% かかわる力 102% 振り返り 123% A	主体性 113% かかわる力 104% 振り返り 100% A	主体性 119% かかわる力 117% 振り返り 119% A	A	教務	
		国語科・算数科において思考力を育てる。	思考を深めることができるようなノート指導を行う。（図や式を関連させたり、順序立てて説明したりする等）	② ・国語（読む）、算数（数学的な考え方）の単元末テストの平均通過率75%以上の割合を75%以上にする。（全学年） ・全国学力・学習状況調査（国語科・算数科）の通過率全国平均以上（9月・・・6年） ・標準学力調査（国語科・算数科）の通過率全国平均以上の児童の割合を75%以上にする。（2月・・・全学年）	(単元末) 国語 125% 算数 125% A (全国学力) 国 128% 算 133% A	(単元末) 国語 125% 算数 125% A	(単元末) 国語 133% 算数 123% A	A	教務	
		個々の課題を把握し、個別指導を充実させる。	「個人学習カルテ」を作成し、学期に1回以上は見直しをし、授業やスキルタイム、放課後学習などで活用する。	③ ・「個人学習カルテ」を学期に1回以上は見直しをし、活用する。	100% A	100% A	100% A	A	教務	
豊かな心	マナーとルールを守り、社会性を身につけさせる。	自立に向けて充実した学校生活を送らせる。	「学校生活振り返り表」を活用し、3つの重点取組課題（あいさつと返事・無言掃除・自分の目標を持つ）の振り返りをさせる。	④ ・毎月末の自己評価・相互評価・教師評価における達成率を80%以上にする。	自己評価 116% 相互評価 113% 教師評価 88% A	自己評価 121% 相互評価 123% 教師評価 90% A	自己評価 121% 相互評価 122% 教師評価 100% A	A	生徒指導	
健康やかな体	健康で元気な体をつくり、体力の増進を図る。	望ましい生活習慣の定着を図り、主体的に体力づくりに取り組もうとする子を育てる。	「家庭生活振り返り表」を活用し、生活重点項目の振り返りをさせる。	⑤ ・生活リズムに関する本校課題の項目（起床・就寝時刻、テレビ・ゲームの時間）について、自己評価及び家族評価における達成率を80%以上にする。 ・食に関する項目（箸・茶わんの持ち方）について、自己評価及び家族評価における達成率を85%以上にする。	生活リズム 98.3% 食 98.6% B	生活リズム 97.3% 食 99.8% B	生活リズム 94.1% 食 102% B	B	生徒指導	
			毎週伸びっ子タイム（ロング昼休憩）を実施し、外遊びの時間および持久走・縄跳びに取り組む時間を増やす。	⑥ ・春の新体力テストの結果が県平均を上回る児童の割合を65%以上にする。 ・秋の新体力テストの結果が県平均を上回る児童の割合を70%以上にする。	101% A	100% A	/	A	生徒指導	
信頼される学校	地域に開かれた信頼される学校を創る。	保小の連携を充実させる。	全職員が幼児・児童の様子や授業・保育の様子を理解するための計画を立て、実施する。	⑦ ・学期に1回以上は、保小の連絡会を行う。	100% A	100% A	100% A	A	教務	
		地域や人材を生かした未来を拓くキャリア教育を行う。	社会的職業的自立に向けて、各教科等で地域や人材から学ぶ。	⑧ ・各学年における地域学習を年間3回以上行う。	55% D	122% A	177% A	A	生徒指導	